

陶生病院オリジナル

2022 年度 急変対応スペシャリスト養成コース

募集要項



【担当者】

公立陶生病院

急変対応スペシャリスト養成PJ

集中治療室 看護師長 濱本 実也

TEL : 0561-82-5101 (代表)

0561-82-1742 (直通)

Email : ARScourse@tosei.or.jp

【研修開催の背景】

急変をいち早く察知することや、急変に適切に対応することは、患者の予後を左右する重要な課題となっています。そのため、臨床においては「急変対応力」の向上が強く求められています。その一方で、これらに特化した一連の知識や技術を学ぶ機会は少ないのが現状です。そこで、公立陶生病院では、高い急変対応力をもつ看護師の育成を目指し、2020年4月から急変対応スペシャリスト（ARS：Advanced Resuscitation Specialist）養成コースを企画・開始しました。本コースは陶生病院オリジナルの認定コースになります。

【研修の目的】

急変対応に必要な知識とスキルを身につける。

【研修概要】

急変の察知、急変対応の基礎知識からシミュレーションによる対応スキルの習得まで、段階的に学べるよう、計16の研修を企画しています。

研修は、**A.基礎研修**、**B.応用研修**、**C.ARS認定試験**の、3段階で構成しています。

A.基礎研修を終了後、**B.応用研修**を受講することができます。また、全ての研修を修了された方は、**C.ARS認定試験**にチャレンジすることができます。

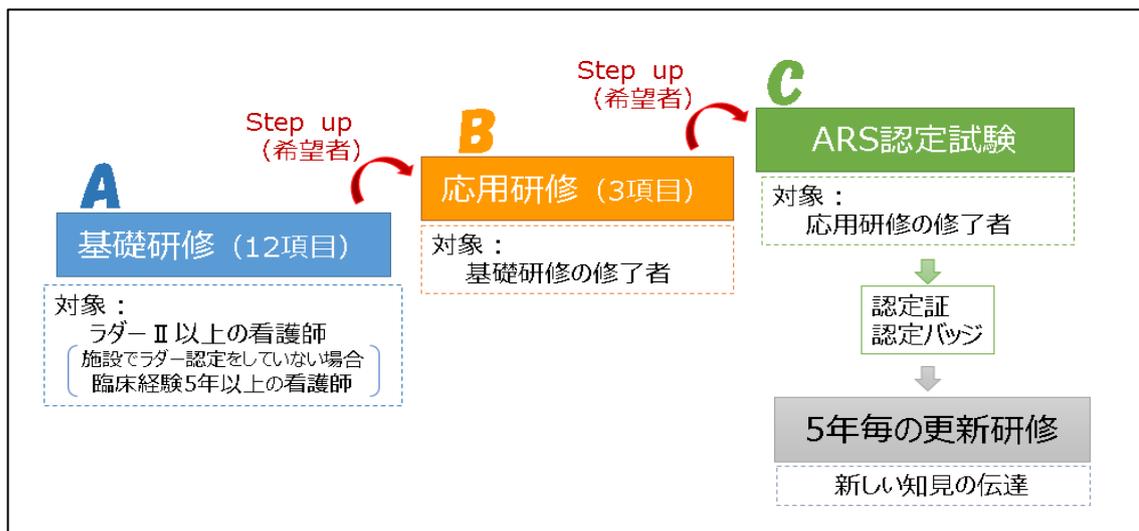


図 急変対応スペシャリスト(ARS)認定までの流れと、更新について

詳細につきましては、「研修スケジュール」及び「研修内容」をご確認ください。

本コースでは、様々な受講スタイルでスペシャリストを目指すことができます。例えば「まずは興味のある研修から」「毎年少しずつ受講」「1年で資格取得」など、皆様のペースに合わせた申し込みができます。

なお、認定を目指さない方も受講可能です。希望する研修のみ申し込みください。

【コース開催期間】

令和4年5月～令和5年3月

【募集期間】

認定コース：令和4年1月～3月

基礎研修（一部）：開催日の1ヶ月前まで、**随時申し込み可能**（研修6.7を除く）

なお、定員に達しましたら、募集期間の終了を待たずに締め切ることがありますのでご了承ください。募集終了の状況は、公立陶生病院ホームページにてご確認ください。

【研修対象者】

クリニカルリーダーレベルIIを取得済みの看護師

（リーダー認定を行っていない御施設では、臨床経験5年目以上を目安としてください）

【募集人数】

A 基礎研修 各50名（ただし、研修6.7は5名まで）

B 応用研修 各5名

C 認定試験 5名

受講の可否につきましては、後日メールにて連絡させていただきます。

【開催場所】

公立陶生病院 第1会議室（北棟5F）

【申し込み方法】

QRコードを読み込み、申し込みフォーム（Google）へ必要事項を入力して下さい。



2セッション中1 最初のセッション

急変対応スペシャリスト養成コース参加申込書

募集期間：2022年1月～3月

お名前*

記述式テキスト（短文回答）

所属病院・所属部署*

記述式テキスト（短文回答）

公立陶生病院ホームページからも、申し込みできます。
詳細は、最終ページ（14P）をご確認下さい。

【参加費】

A~C 全研修への参加 20000 円（個別申し込みよりも安くなります）

個別参加の場合

研修によって参加費が異なりますのでご注意ください。

A 基礎研修 各 1000 円

B 応用研修 各 3000 円

C 認定試験 3000 円（試験前のシミュレーション研修を含む）

参加費は、受講当日に持参してください。

おつりのないよう、準備をお願いいたします。

なお、全コースを受講される場合には、最初の研修で 20000 円をお支払いください。

個別参加の場合には、研修毎に参加費をご持参下さい。

【キャンセルポリシー】

お支払いいただいた参加費は、原則返金は致しません。災害などにより開催が中止となった場合は、代替日を設けて開催いたします。

【講師陣】

これまで、数々のセミナー講師を歴任したベテラン講師陣に、ARS インストラクターを加え、みなさまの学習をサポートします。



自信をもって、お勧めします！

【研修スケジュール】

A 基礎研修

1 項目（I 研修）から申し込み可能です。
個別申し込みの場合、受講料は
各 1000 円です。

基礎研修の様子



研修 7.10 は、参加要件がありますので、申し込みの際にはご注意ください。

	研修番号：テーマ	開催日時	参加要件
1	COMICで救え！ 一歩先行く急変対応	5月 11日 (水) 14:00-15:30	
2	教えます！ 気道管理・酸素療法	5月 11日 (水) 15:45-17:15	
3	不整脈が読める！ 心電図の基礎	6月 16日 (木) 13:00-15:00	
4	もう見逃さない！ 重症患者のフィジカルアセスメント	6月 27日 (月) 14:00-15:30	
5	そうだったのか！血液ガス分析と 胸部レントゲン画像の見方	6月 27日 (月) 15:45-17:15	
6	RST 人工呼吸器①	8月 8日 (月) 8:30-17:15	
7	RST 人工呼吸器②	8月 23日 (火) 8:30-17:15	研修番号 6 を修了している こと（申し込みを含む）
8	1時間で患者を救え！ 敗血症患者の対応	9月 20日 (火) 14:00-15:30	
9	事例で学ぼう！ 呼吸困難を訴える患者の対応	9月 20日 (火) 15:45-17:15	
10	事例で学ぼう！ 胸痛を訴える患者の対応	10月 17日 (月) 14:00-15:30	研修番号 3 を修了している こと（申し込みを含む）、 又は、心電図検定 3 級を取 得している場合も受講可
11	事例で学ぼう！ 意識障害患者の対応	10月 17日 (月) 15:45-17:15	
12	あなたを次のレベルに引き上げる！ 臨床倫理	11月 21日 (月) 14:00-15:30	

B 応用研修

A 基礎研修を全て終了後（終了見込みを含む）、申し込み可能です。

個別申し込みの場合、受講料は各 3000 円です。

研修 15 は、個別の参加要件がありますので、申し込みの際にはご注意ください。



研修番号：テーマ		参加要件
13	ICLS (日本救急医学会認定コース)	12月20日(火) 8:30-16:30 過去に受講された方は、参加証の提示で研修免除可
14	すぐに現場で活かせる！ NPPVとIPPVのテクニック	1月30日(月) 9:00-16:00
15	急変対応シミュレーション	2月8日(水) 9:00-16:00 研修番号13.14を修了していること(申し込みを含む)

C 認定試験

B 応用研修を全て終了後（終了見込みを含む）、申し込み可能です。

個別申し込みの場合、受講料は 3000 円です。

認定試験は、筆記試験と実技試験を行います。筆記試験は、これまでの講義内容から出題されます。実技試験は、シミュレーションによって評価致します。

可否の判定は試験当日に行われ、認定試験の合格者には、認定証およびバッジを配布します。

研修番号：テーマ		参加要件
16	シミュレーション研修・認定試験	3月8日(水) 9:00-16:00 A. B 全ての研修を修了していること

注：試験の前に、シミュレーション研修で再学習します

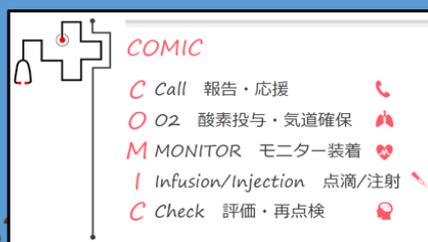


A 基礎研修

テーマ1

「COMICで救え！ 一歩先行く急変対応」

「急変対応の王道ってあるの？」その答えはズバリあります。それが、COMIC！急変徴候の察知から初期対応、報告までを一連の流れで学びます。これであなたも急変対応なんて怖くない！



受講者の声

COMICについてペーパーペーシエントで練習したことで、理解を深めることが出来ました。

平均血圧など、これまでアセスメントで使用したことがなかったので使用していきたいと思います。

とてもわかりやすく、すぐに病棟で役立てられそうです。

テーマ2

「教えます！ 気道管理・酸素療法」

急変対応で欠かせない「気道トラブル」への対応！知っているのと差が出る知識、ここでおさえましょう。また、日頃から何気なく使用している酸素療法。その適応は？特徴は？詳しく解説します。

用手的気道確保

- ・頭部後屈顎先挙上法・下顎挙上法
- ・Triple airway maneuver



受講者の声

新しい知識を得ることができました。

挿管を行ったことがなかったのですがイメージがつかえました。

気道管理は苦手でしたが、研修に参加させて頂き少し頑張って勉強していきたいと思いました。

テーマ3 「不整脈が読める！心電図の基礎」

ややこしい理屈は忘れ、臨床に必要な知識だけを
チョイス！
見逃さない不整脈の基礎知識を習得し、実際にモ
ニター波形を読んで学びます。

基本波形

基本波形は、洞結節が出す規則的な刺激に従い、P波、QRS波、
T波が出現する洞調律（sinus rhythm:SR）

以下の3つを満たせば洞調律

- ① RR間隔が一定
- ② P波がある
- ③ P波とQRS波が繋がっている



受講者の声

不整脈を理解するに
は、まず正常波形を
知ることが大事だ
ということがわかりま
した。

心電図には苦手意識
がありませんでした
が、基礎から学ぶ
ことで少し理解でき
たように思います。

テーマ4 「もう見逃さない！重症患者のフィジカルアセスメント」

皆さん、正しい手順でフィジカルアセスメントでき
ていますか？呼吸・循環・意識を中心に重症患者の
フィジカルアセスメントについて学んでいきます。



受講者の声

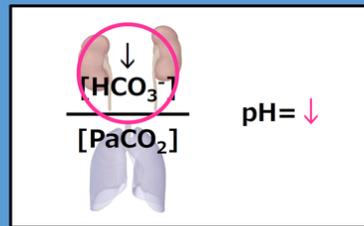
内容も盛りだくさん
で、もっと学びたく
なりました。

学んだ知識をすぐに
事例で確認できたの
で理解しやすかった
です。

これまでの自己流の
フィジカルアセスマ
ントとは異なり、大
変勉強になりました。

テーマ5 「そうだったのか！血液ガス分析と胸部レントゲン画像の見方」

誰もが苦手な血液ガス分析ですが、最低限の知識と手順で誰でも簡単に判読できるようになります！あわせて、胸部レントゲン画像の基本的な読み方についても解説します。



受講者の声

事例のおかげで酸塩基平衡について理解できました。

少し血ガスが好きになりそうです。今後はもう少し気にしてみています！

臨床から離れていたもので、今日はとても勉強になりました。

テーマ6 「RST 人工呼吸器①」

人工呼吸器のメカニズム、人工呼吸器管理中の観察や留意点、アラームの意味および対処について学習し、シミュレーションを交えてトラブル時の対応を習得します。

挿管チューブの巻き直し



テープは皮膚に置くように貼り、皮膚が引っ張られないようにする。

チューブの下から上に向かって持ち上げるように固定する。

チューブにしっかりとテープを貼り、2重に巻く。

テープをチューブに巻いたら、テープの端は頬でも下顎でも貼りやすい部位でよい。



受講者の声

病棟で人工呼吸器を着けている患者をあまり見ないのですごく怖いと思う気持ちはありましたが、事故抜去時の対応やアラーム、設定確認など教えて頂けて良かったです。

4年目になって勉強できたので頭に入りやすかった。ある程度知識がある中でのこのような研修はイメージがしやすくわかりやすかったです。

テーマ7 「RST 人工呼吸器②」

NPPVのメカニズム、NPPV管理中の観察や留意点、看護について体験しつつ学びます。
また、人工呼吸中の合併症の対処方法などをシミュレーションを通して習得します。



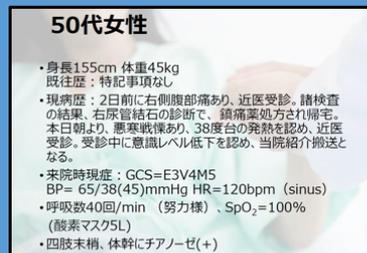
受講者の声

実際にシミュレーションを行うことで緊急時の対応方法を学びフィジカルアセスメントの大切さを改めて感じた。また、チームで声かけし合うことがとても重要だと思った。

看護師の講義がテキストに書いていることだけではなく、その理由や最近の傾向等本当にわかりやすかった。シミュレーションも実際にやってみて学ぶことがたくさんあった。

テーマ8 「1時間で患者を救え！敗血症患者の対応」

敗血症の治療は時間が勝負！「そもそも敗血症ってどんな病気？」「どうやって敗血症を認識するの？必要な治療は？」そんな疑問を、ガイドラインや最新の知見を交えて解説します。



受講者の声

症例を用いて診断など復習できて理解が定着できたと思う。資料を見たき???でしたが理解できたと思う。充実感。

敗血症の対応、とてもよく分かりました。『ちょっとおかしい』を見逃さずに対応していけるようになります。

テーマ9

「事例で学ぼう！呼吸困難を訴える患者の対応」

呼吸困難を主症状とする様々な病態について学びます。また、事例を用いて呼吸困難を訴える患者の初期対応について学びます。

呼吸困難の初期対応フローチャート



受講者の声

同じようなケースが病棟で起こりどのような対応をすればいいかスムーズに動けたのでぜひ続けて欲しいです。

テーマ10

「事例で学ぼう！胸痛を訴える患者の対応」

胸痛の原因は様々です。なかでも、見逃せない4疾患（4killer disease）について詳しく解説します。また、事例を用いて胸痛を訴える患者の初期対応について学びます。

見逃せない胸痛疾患

4killer disease (Chest pain)

- ・急性冠症候群
- ・急性大動脈解離
- ・急性肺血栓塞栓症
- ・緊張性気胸

急激な全身状態の悪化や重篤な合併症のリスクを伴う



受講者の声

見逃せない4つの疾患をしっかりと頭に入れて病態を判断できるようになりたいです。

症例を通じた学習でとてもわかりやすかったです。

とてもわかりやすかったです！また他の事例もやってみたいです！

テーマ11

「事例で学ぼう！意識障害患者の対応」

意識障害の原因は頭だけ？いえ、そんなことはありません。意識障害を呈する様々な疾患の初期対応について、事例を用いて学びます。

覚醒と認知

・意識は「覚醒」と「認知」に分けられる

- ・「覚醒」目が覚めている状態。脳幹（延髄・橋・中脳）の上行性網様体賦活系の機能が対応。知覚刺激は上行性網様体賦活系を伝わり、視床を経て大脳皮質や視床下部、大脳辺縁系に送られる。
- ・「認知」自分自身と周囲の環境を認識している状態。広範な両側の大脳皮質の機能が対応。大脳皮質は、判断力、計算力、記憶力、見当識など高次機能と呼ばれる働きを担っており、これらの機能が認知。



受講者の声

事例問題で病態が分かり、COMIC対応やSBAR報告も練習できるのでとても勉強になりました。

講義部分が少し難しかったが、事例を通してどのように考えるか学ぶことができました。

テーマ12

「あなたを次のレベルに引き上げる！臨床倫理」

医療倫理の四原則を理解し、救急医療における倫理的問題について解説します。また、事例を通して倫理的問題のある患者対応について確認していきます。

1. 自律尊重原則=自己決定権の尊重

- ・基礎—義務論
- ・非帰結主義：帰結がどうであろうと、やるべき行為、やるべきでない行為が存在する
- ・行為が正しい ⇔ 道徳規則や原理と適合している場合
- ・「道徳規則や原理」とは
 - ・神が定めた掟
 - ・理性的な定めた掟
 - ・理性的存在であれば誰もが選択する規則
- ・モーセの十戒や仏教の五戒、カントの倫理（「普遍的な法則になりうるような規範に従って行動せよ」「あなた自身や他の人間を単なる手段としてのみ利用するような行動をしてはならない」）など



受講者の声

病棟での倫理カンファレンスの参考になりました。

実際に四分割法を用いて日々考えていきたいと思っています。

倫理は難しいと思っていましたが、ガイドラインや法律と一緒に考えればよいと教えていただき、わかりやすくなりました。

B 応用研修

テーマ13

「ICLS（日本救急医学会認定コース）」

実技実習を中心とした研修です。受講者は少人数のグループに分かれて実践に沿ったシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。この研修は、日本救急医学会の一定の基準を満たしたICLSコースに対応しており「コース認定」を行っています。

おすすめポイント：日本救急医学会認定コースで、受講者には修了証が発行されます。一般に受講料5 000円～10000円のコースです

受講者の声

実際に研修を受けて、蘇生に自信が持てました。

実際の蘇生現場にすぐに役立つと思います。

医師がどのように指示を出すのが流れが理解できました。

テーマ14 「すぐに現場で活かせる！ NPPVとIPPVのテクニック」

NPPVの基礎や適応、観察項目などを座学で学びます。また、シミュレーションでNPPVの導入場面や適切なマスクフィッティングについて楽しく学びます。IPPVの基礎や観察項目、グラフィック異常などを座学で学びます。また、シミュレーションでIPPV患者のトラブル対応について楽しく学びます。



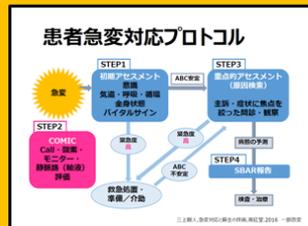
受講者の声

NPPVはわかりにくくて苦手だと思っていたのですが、ポイントをおさえて先のことも予測していくことが大切だとよくわかりました。

機械にばかり目がいってしまうところ、急変対応に沿って患者をアセスメントすることの大切さを改めて感じました。

テーマ15 「急変対応シミュレーション」

小グループに分かれてこれまでに学んだ知識と技術、チームワークの大切さをシミュレーションを通して確認していきます。シミュレーション後は、デブリーフィングで丁寧に振り返りを行います。



受講者の声

シミュレーションを通してABCD評価からCOMICの流れが少しかめました。

シミュレーションをやることで座学での学びがよりよく頭に入ってきました。よくわかりました！

何症例か経験し、またデブリーフィングに参加したことでプロトコルを理解することができました。

C 認定試験



テーマ 16 ARS認定試験

1年間の集大成！
筆記試験（60分）と
実技試験（60分）を実施します。

受講者の声

人工呼吸器が苦手な『嫌いだな』と思っていましたが、とてもわかりやすい講義とシミュレーションによる実技を受けたことで、呼吸器を理解し、『楽しい』思うことができました。ARSに参加していなければ苦手なままだと思います。

受講者の声

ARSを受講してから『急変がおきるかも』と学習を思い出しながら実践できるようになりました。

合格者の声

急変対応に対する自信ができました！
これからは、院内のRapid Response Teamに参加して、今回の学びを発揮していきたいです！

受講者の声

シミュレーションまで行うことで、ABCD、COMIC、SBARが一連の流れで理解できました。忘れてしまわないよう、活かしていけるよう、今後も頑張っていきます。

【公立陶生病院ホームページからの申し込み方法】

- ①公立陶生病院ホームページ 検索
- ②ホームページの画面をスクロールする（下に降りていく）と「**新着情報**」掲載
- ③「講座・研修・イベント情報」クリック



- ④「急変対応スペシャリスト養成コースの参加者募集」クリック
- ⑤「急変対応スペシャリスト養成コース参加申し込み」アドレス クリック



- ⑥申し込みフォーム(google)より登録（所属、名前、看護師経験年数、緊急連絡先、メールアドレス、参加希望の研修）